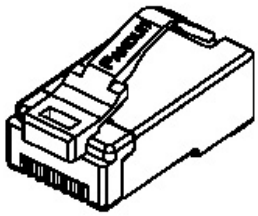
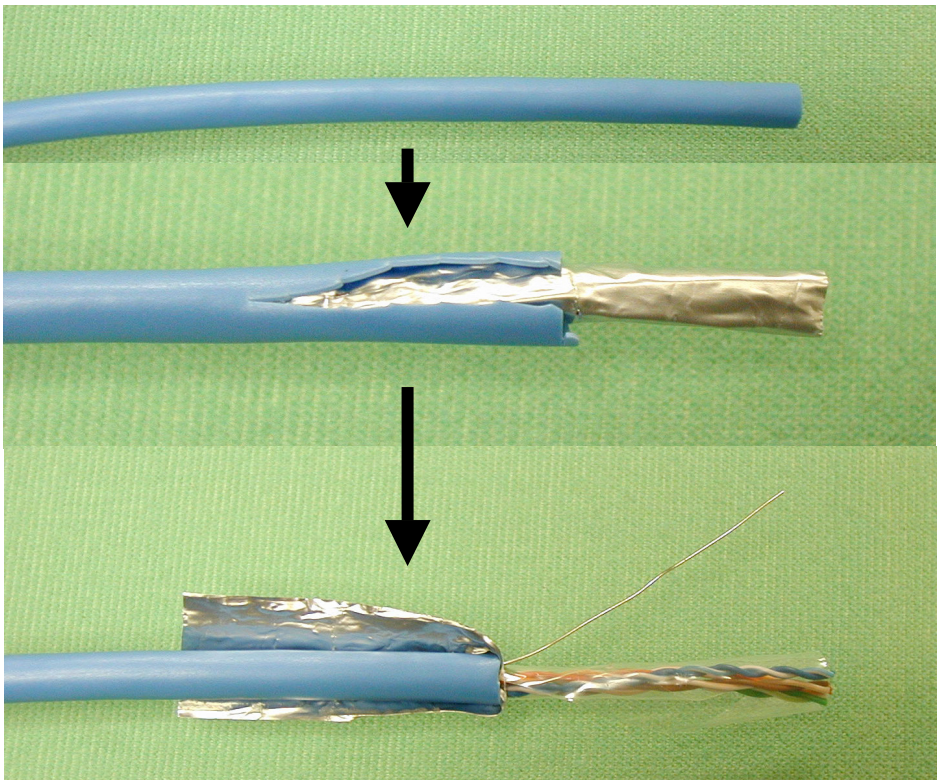
取扱説明書

カテゴリ５Ｅモジュラシールドプラグ成端手順



◆部品番号：
ＭＰＳ５８８

■成端仕様：
・外被覆の外径は 4.826～5.461Φmm 以下
・導線径は 0.4～0.51Φmm（26～24AWG）
・導線絶縁径は 0.889～1.016Φmm
・コンタクトは単線または導体より心線の成端が可能
・Ｔ５６８Ａ及びＴ５６８Ｂ結線の成端が可能
・ＭＰＴ５－８工具を使用して一括圧接



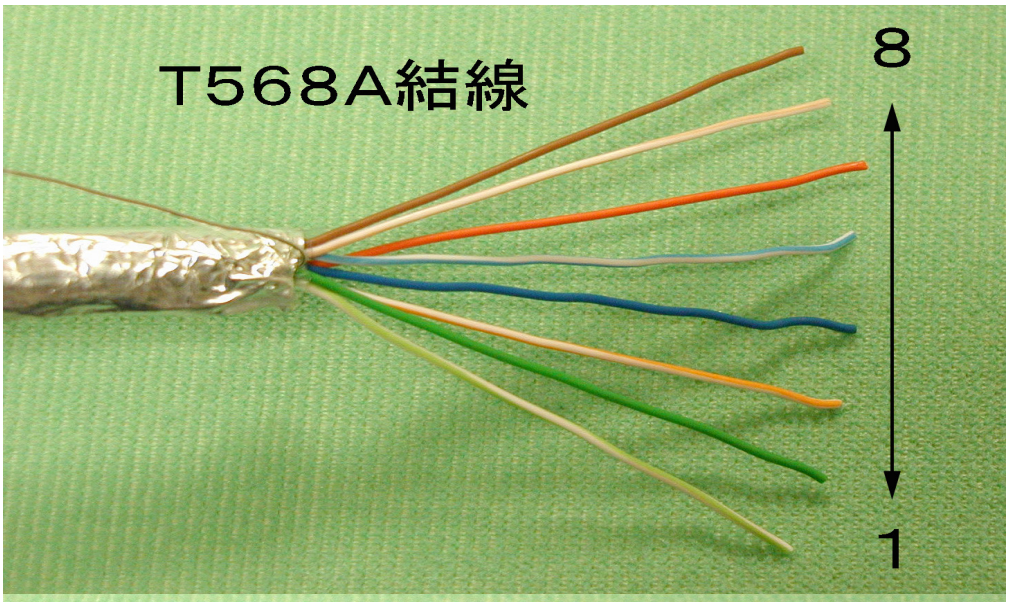
外被覆を５０mmほどむきますが、遮蔽用ホイルを傷付け無いようにします。
遮蔽用ホイルとドレイン線を折り返します。

注：この成端の例では遮蔽用ホイルを折り返してドイレン線と一緒にプラグハウジングに挿入いたしますが、外被覆の径が大きい場合にはホイルを切り取って成端することもできます。

モジュラプラグ成端の色コード識別表								
コンタクト番号	1	2	3	4	5	6	7	8
Ｔ５６８Ａ	白緑	緑	白橙	青	白青	橙	白茶	茶
Ｔ５６８Ｂ	白橙	橙	白緑	青	色青	緑	白茶	茶

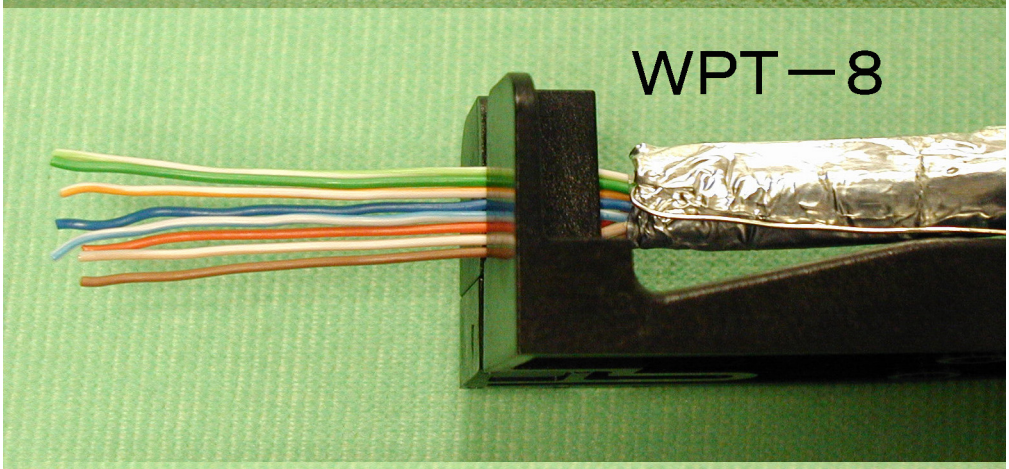
取扱説明書

カテゴリ５Ｅモジュラシールドプラグ成端手順

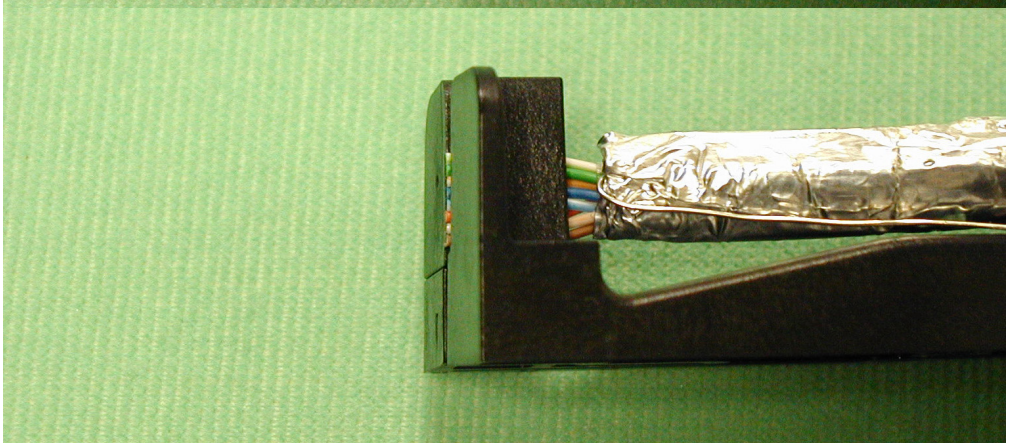


各対のよりを戻し真直ぐに伸ばします。
結線仕様に従って順番を整えます。

注：外被覆の内側までよりが戻り過ぎないようにします。

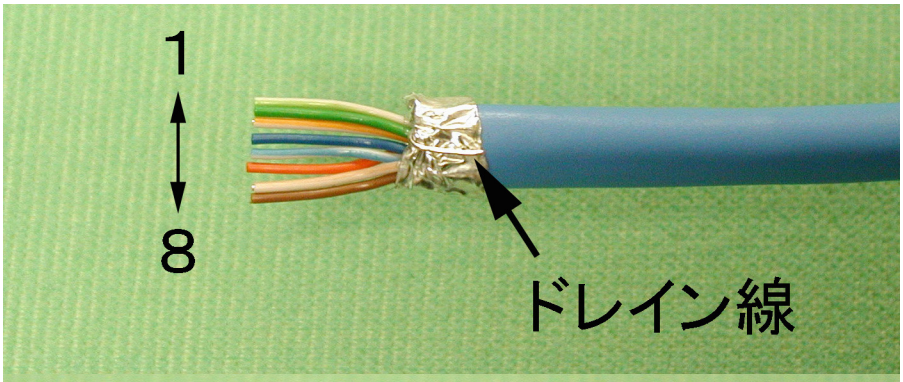


挿入位置決め治具（ＷＰＴ－８）に導線を挿入して、余分な導線を切取ります。

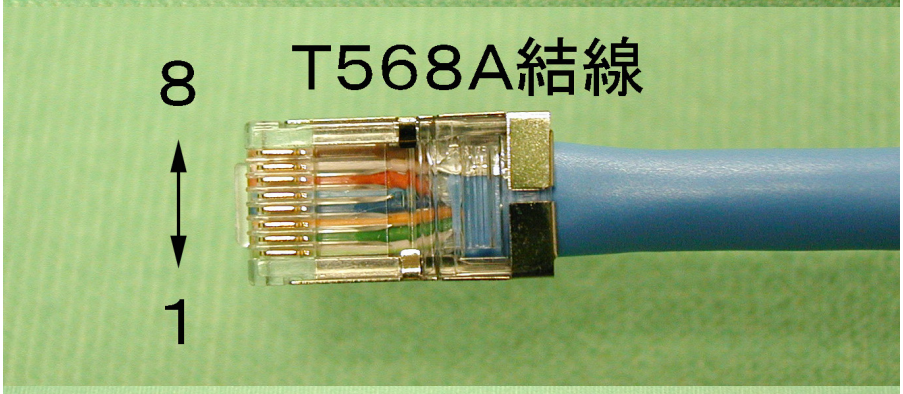


取扱説明書

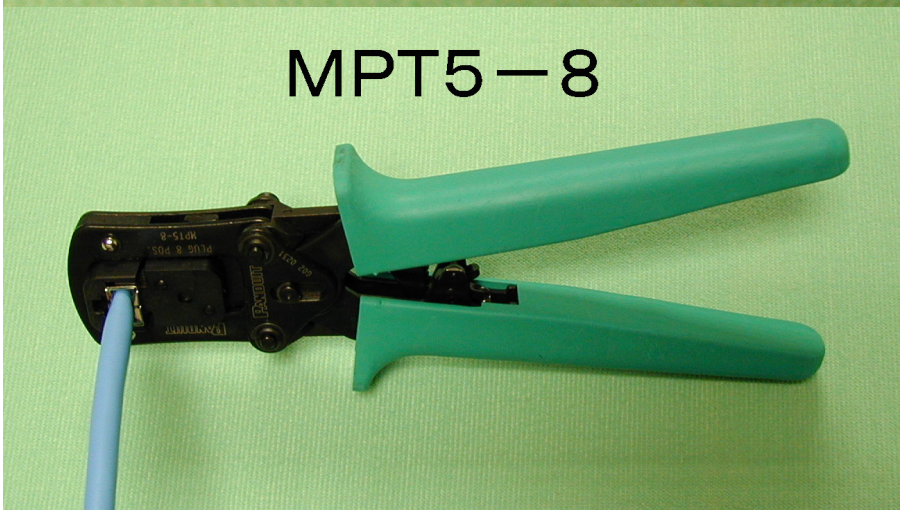
カテゴリ５Ｅモジュラシールドプラグ成端手順



図のような位置にドレイン線を導き、遮蔽用ホイル及びドレイン線を外被覆端から６～９mmほど残して切取ります。



撚り対線と遮蔽用ホイル及びドレイン線をハウジングに確り奥まで挿入します。



撚り対線の結線仕様を確認し一括圧接工具（ＭＰＴ５－８）で圧接します。

注意事項

1.圧接の際は,弊社製圧接工具 MPT5-8 の使用をお薦めします。

2.24～26AWG で,絶縁部半径が最大 1mm の拠り線,単線をご使用ください。

3.グラウンディング,及びボンディングの詳細については,J-STD-607,または、“JISX5150:2004(構内情報配線システム)11.3 項「接地」をご参照ください。

下記は,弊社製以外の情報配線用の製品についても適用されます。

1.雷発生時の施工は絶対にしないでください。

2.製品が,特に耐水,耐湿度に対応して使用のものである場合を除き,水に濡れる場所や高湿度の環境においての施工は絶対にしないでください。

3.配線が,稼動中のネットワークから物理的に隔離,切断されていない場合、絶縁されていない配線部やコンタクトに,絶対に素手で触らないでください。

4.配線の施工や修繕の際は、十分に注意して施工を行ってください。

技術のお問い合わせ◆
パンドウイット ネットワーク製品グループ
http://www.panduit.co.jp/
E-mail:jpn-info-d@panduit.com
FAX:03-5762-7736
TEL:03-3767-7013